

# 令和5年度「地域と共にある学校づくり」リーダー研修会 実施報告

《日時》 令和6年2月5日（月）

《会場》 奈良県産業会館 大ホール

《参加者》 ○県内の公立の幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、県立学校の教職員  
○学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員等（地域コーディネーター含む）  
○社会教育関係者、市町村教育委員会事務局員職員

計150名

## 《内容》

### ◆第1部 表彰式

「魅力かがやく学校・地域づくり」奈良県教育委員会教育長賞 表彰状授与



奈良県立磯城野高等学校学校運営協議会及び  
磯城野高等学校地域学校協働活動における取組



御杖村学校運営協議会及び  
御杖村学校協働実行委員会における取組

### ◆第2部 研修会

#### ○ 取組報告

- ・地域農産物を活用した加工食品開発プロジェクト  
～味間いもポタージュで地域の魅力発信～  
奈良県立磯城野高等学校 教諭 中 麻子  
生徒 中西 妃菜  
市民生活協同組合ならコープ 商品部 向出 文則



- ・ふるさと「みつえ」出会い・発見・探究・発信  
～ふるさとに誇りを持ち みつえを愛する子ども達に～  
御杖村立御杖中学校 校長 巽 憲文



#### ○ 講評及び講演

「地域と共にある学校づくり」の未来像を描くために～「一体的推進」の内実と社会教育の役割を考える～  
天理大学人間学部 教授 佐々木 保孝

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するためには、それぞれの地域の実情に応じた体制を構築し、学校運営協議会において地域学校協働活動の効果や成果を俯瞰的に見るとともに、長期的な目標をもって取り組むことが重要である。



## 《参加者の感想（一部）》

（県立磯城野高等学校における取組について）

- ・学校の特色と地元の特産物をうまく合わせたプロジェクトを、学校運営協議会委員でもある地元企業の方と進められ、また、継続されているところが素晴らしいと感じた。

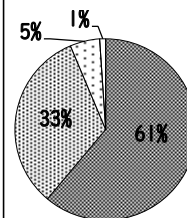
（御杖村立御杖中学校における取組について）

- ・学校運営協議会の場で、「御杖村の子どもにどんな力をつけたいか」を共有できていることがすばらしく、だからこそ学校と地域がこれだけ連携できるのだと感じた。

（講評及び講演について）

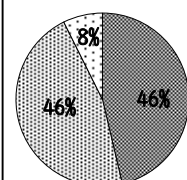
- ・まず地域を知り、人とのつながりを積み重ねて、人材の確保をしていくことが必要だと思った。少子化や学校再編等が課題となっているが、学校や地域の未来像を地域と共にイメージしていくことが大切だと感じた。

子どもの教育課題解決のために、学校と地域が連携・協働する取組を推進するための知識・理解が深まった。



- 4: そう思う
- ▣ 3: どちらかといえばそう思う
- 2: どちらかといえばそう思わない
- 1: そう思わない

本研修会の内容は、今後の「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に活用できるものだった。



- 4: 活用できる
- ▣ 3: どちらかといえば活用できる
- 2: どちらかといえば活用できない
- 1: 活用できない